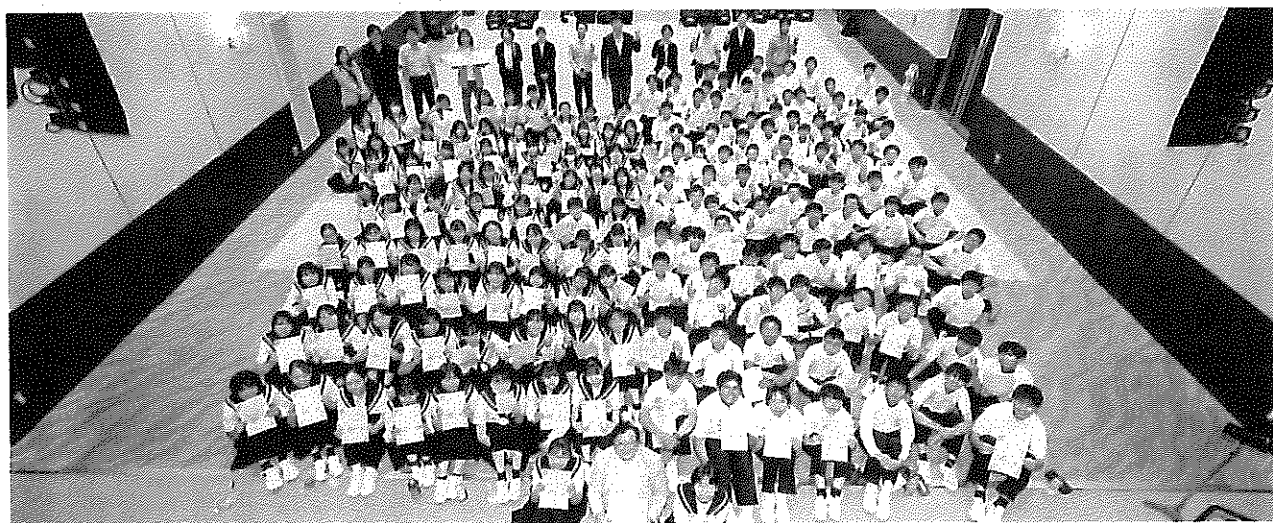




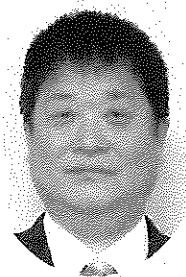
第261号
編集・発行
幸田中学校
印刷
大日印刷

卒業記念号



修学旅行合唱指導

新たなステージに向けての開幕宣言



校長 山中 剛

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。九年度の義務教育を終えて、それぞれの道を歩む日を迎えられることは、喜ばしい限りです。

一年生では学年目標「一步」のもと、失敗を恐れずに前向きに取り組む成長していききました。二年生では「超実践」を目標として、これまでの枠組みを超えるために、言葉にするだけでなく、自ら動き実践していききました。そして、三年生では「開幕宣言」を掲げました。コロナ禍から脱却し、新たな幸田中学校の伝統を生み出そうと動き出したのが皆さんです。

令和六年度、幸田中学校は、三年生によって、大きな変革が行われました。その一つに新たな全校合唱「ふるさと」があります。修学旅行先で指揮者・編曲者の富澤裕先生に直接ご指導を受け、三年生が曲をマスターし、後輩に伝え広げていきました。もう一つが、新しい全校ダンス「開

幕宣言」です。二年生のスタート時から地道に練習を積み重ね、一・二年生を巻き込んで完成へと導きました。この二つのプロジェクトは、幸中祭の場で全校生徒によって披露され、「全校で一つのものを創る」という伝統が引き継がれました。

これらの原動力は、多くの人に元気や笑顔を届け、コロナ禍から一歩を踏み出し、新しい時代を「開幕」させ、自分たちのダンスで明るい社会を「宣言」できるようにという皆さんの願いでした。そして、その願いを幸田町と「災害時相互応援協定」を結んでいる石川県内灘町への募金活動に結び付けました。さらに学区の三つの小学校・保育園を訪問して、地域の子どもたちとの交流を深める取組に発展させていきました。園児たちと触れ合う笑顔や、優しい表情で抱っこしたり、肩車をしたりする様子は、まさに地域を照らす「命輝く」姿でした。

皆さんは、新しいものを生み出す難しさと苦しさを体験し、やり切った成就感を味わいました。そして、自らの行動で、「人を喜ばせ、幸せにする」喜びも経験してきました。

今後、「一步」ずつ、自ら動いて「超実践」し、自らの命を輝かせ、人の命も輝かせることを心掛け、胸を張って新たなステージへの「開幕宣言」をして、歩み出していくことを心から願っています。

卒業生のみなさんへ

PTA会長 北出 淳

卒業生のみなさんは、二年生の頃から取り組んできた学年合唱「ふるさと」そして学年ダンス「開幕宣言」を、幸田中学校の新しい伝統として立ち上げようとなりました。練習ではいつも先生方がみなさんと共に汗を流し、一緒に踊っていたという話を聞いています。また、地域とのつながりを深めようと、小学校や保育園を訪問し、一緒に遊んだり、お話をしたりして交流しました。みなさんにとって、貴重な挑戦の機会だったのではないかと思います。

みなさんはこの三年間、さまざまな事に挑戦し、努力や苦勞を積み重ね、成長してきたことでしょう。しかし、今日があるのも、いつも愛情をもって育ててくれた家族の方々、また、みなさんの将来を考え、一生懸命ご指導をくださった先生方、そして、苦樂を共にし、些細なことでも相談し合えた、かけがえのない友達。たくさんの方の支えがあったことを覚えていてほしいと思います。そして、これから出会うたくさんの方の支えや思いやりに対して、感謝の気持ちを忘れないでください。

培った経験を胸に抱き、自信と誇りをもって、堂々と自分の道を進んでほしいと思います。

十五の決断によせて

教頭 松井 亮

義務教育最後の年に大きな決断をし、今、新たな進路へ向かおうとしている卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。新たな進路への「十五の決断」を下すまでには、さまざまな葛藤があったことでしょう。

これからも、至るところに人生を左右する決断を強いられる場面があることでしょう。しかし、その先には新しい世界が開けていると信じて、思い切って一步を踏み出してください。みなさんの周りの大人たちも、そうして生きてきたのです。

「急すれば 花ひらく」

太田 早織

苦しいとき
母がいつも口にしていた
このことばを わたしも
いつのころからか
となえるようになった
そうして そのたび
わたしの花が ふしぎと
ひとつひとつ ひらいていった

目標を達成しようと思うと、そう簡単にはいかないものです。どんな場面でも目標に向けて、こつこつと進んでいってほしいです。そうすれば、必ず花が咲くのだと思います。

卒業おめでとうございます。

チャンスは目の前にある

山本 弘文

この先の人生は、自分で決め、自分で責任を負うことばかりです。それだけの自由をこれから君たちは手にします。その自由をどう生かすのかは自分次第です。未来の自分は、今の自分が生むのです。

まさに、君たちが全校ダンスや全校合唱を新しいステージに引き上げたい日々を思い返すときと思います。そして、チャンスはいつでも目の前にあります。しかし、自分を磨かなければ、このチャンスは見えてくることはありません。目の前にあるそのチャンスをつかむ力を磨いて頑張ってくれることを願います。

卒業おめでとう。

人間は生きものである

小畑 豊美

「人間は生きものである、自然の一部」は、生命誌研究者の中村桂子さんの言葉で、私も大切にしたいと思っています。考える方です。みなさんが卒業の歌に選んだ緑黄色社会の「僕らはいきものだから」にも、「僕らは『にんげん』である前に『いきもの』である」というメッセージが込められています。生きものは変化しながら一生懸命生きて共生しています。この尊い

つながりを大切にしていってほしいです。

「いつでも心に笑顔を」

伊藤 瑠美

ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした三年間の中でも、スキー学習会や修学旅行に一緒に行けたことは特に思い出に残っています。

これから皆さんは新しい世界に踏み出し、多くの経験をします。時にはつらく苦しいこともあります。そんなときこそ笑顔を作ってみてください。幸せは自分の心が決めるもの。笑顔には心を元気にする力があります。同じ経験でも、心が元気であれば前向きに考えられ、幸せを感じられるようになるはずです。これから笑顔をお大切にしてほしい幸せを感じてください。

あたり前によい日

池田 千尋

「誰かにとつてたかがそれくらいのおりふれた遊びを嬉しいと感じた瞬間に思い浮かんだのは誰？」

私の好きな「美しい日」という曲の歌詞です。今まであたり前だった「日常」が変化することで、過ごしてきた時間の素晴らしさに気付くことがあります。みんなの中学校生活がそうであることを願いつつ、これから新しい生活をスタートするみなさん

んが毎日のどんな小さなことでも笑顔に変えて過ごしていくことを応援しています。三年間ありがとうございました。

みんなのおかげ

高須 優典

「みんなのおかげ」

この言葉は、先生が中学生のときに自分の座右の銘になった言葉です。人は一人では生きていけません。自分が見えるところでも、見えないところでも必ず誰かに支えられています。結果が出たり、調子がよかったりするときはつい「自分の実力」と思ってしまうがちですが、その過程には必ず周りの支えがあります。自分に自信をもつことも大切ですが、根本にあるものを忘れてはいけません。卒業生の皆さんののおかげで先生もたくさん学ぶことができました。ありがとうございました。

これからたくさんの人から応援される人であってください。

みんなの活躍を心より願っています。卒業おめでとう！

卒業おめでとう！

渋谷 悠里菜

二年間この学年に関わらせてもらって思うことは、とにかく笑顔が素敵な学年だということ。行事でも普段の生活でも、とにかく明るくて一緒にいて楽しくて…。思い返せば、

そんなみんなに助けられたことが本当にたくさんありました。

今年度、全校ダンスや全校合唱を自分たちの手で新しいものに変え、後輩たちに新たな伝統としてつないできました。みんなにはそれだけのパワーがあります。これからもそのパワーと素敵な笑顔を大切に、それぞれの場所で活躍してくれることを願っています。

「ほくらまだ」

鈴木 貴大

みなさん、二年間ありがとうございました。みんなと過ごした二年間は、本当に一瞬のように感じ、それだけ楽しい二年間でした。毎日笑顔で話しかけてくれる人が多くて本当にうれしかったです。

「片道の人生に 出逢いと言う宝物 これから長い旅に思い出と言う贈り物 夢を握り締め旅立つ背を眺め涙はグッと堪えそれじゃまたね」

「僕らまた」という曲の歌詞です。みなさんとの出会いは自分にとって宝物です。別れは寂しいですが、大きくなったみんなとまた会えることを楽しみに先生も頑張ります。

美しい

佐原 由香里

みんなと一緒に過ごしました。夏休みが明けたら、四月に会ったこ

ろと目線の高さ、眼差しが変わりました。みんなの成長の速さに戸惑いました。しかし、その瞳は、とても美しいと思いました。

さまざまな節目の日を迎えました。体育大会をはじめ、部活動、文化祭、交流会、進路の決定などなど。煌めくみんなの顔つきがとても美しいと思いました。

飛び立った先で見たものの、感じたものの、経験したものの。いつか教えてください。楽しみに待っています。

卒業おめでとう。去りゆくみんなの後姿は、とても美しいです。

「笑顔を絶やらずに」

横田 景

ご卒業おめでとうございます。皆さんとは、縁あって二年間共に過ごすことができました。この二年間は、皆さんのいろいろな表情を見ることができました。その中でも、皆さんの輝く笑顔は印象的でした。

義務教育が終了し、これから自分自身のことを選択する場面が増えることでしょう。楽しいことばかりではなく、きっと困難に立ち向かうこともあると思います。そんなときは、笑顔を忘れずに頑張ってみてください。必ず乗り越えることができます。ありがとうございます。皆さんの活躍を陰ながら応援しています。

「門出」

北野 陽介

君たち三年生は、あまり接点がない北野にも、修学旅行等の行事で気さくに接してくれて、素直でいい子たちという印象でした。

生きていく中で、楽しいことだけでなく、理不尽なことも、我慢しなくてはいけないこともこれからあると思います。しかし、それに屈するのは、負けずに幸せをつかみ取るのかは、その素直さを忘れないことが大切だと思います。

いつかまた出会ったときに、「今こんなに幸せです！」と聞けることを楽しみにしていますね。卒業おめでとう！

みんなの「ふるさと」

井上 正興

みなさんと過ごした中で一番記憶に残っていることは修学旅行での合唱指導です。みなさんの力強い「ふるさと」を聞いたとき、全校合唱は素晴らしいものになると感じました。そして、三年生が全校を引っ張り、すてきな全校合唱をホールに響かせてくれました。

将来幸田町から離れる人もいると思いますが、みんなが歌った「ふるさと」を心に、それぞれの場所で活躍していってください。応援しています。

「卒業に際して」

渡邊 正道

卒業おめでとうございます。私がこの学年を担当したのは一年間だけだったので、あっという間に終わってしまった感じが強いのです。しかし、とても印象に残る、思い出深い一年間でした。

明るく素直な生徒ばかりで、一緒にいるだけでこちらにも明るい気持ちになる、そんな学年でした。

しばらくお別れですが、成長した皆さんと再会できる日が楽しみです。

See you very soon!

「宝物をありがとう」

佐々木 麗

ご卒業おめでとうございます。まだ学校にきたばかりの頃にふれたみなさんの元気いっぱいな挨拶や、明るい笑顔は今でも印象に残っています。そして、みなさんと共に過ごす中で優しく温かな心になれることができました。みなさんと過ごしたこの一年間は私にとって宝物です。素敵な時間をありがとうございました。

これからみなさんはそれぞれ新たな道を歩んでいくと思います。頑張る過ぎず、たまに休憩しながら自分の信じた道を堂々と歩んでいってください。これからもずっと応援しています。

大変なとき大きく変わるとき

杉浦 龍太

みなさんは、全校合唱、全校ダンスを新しく創るといって、とても大変な毎日を過ごしました。

しかし、これから先の人生、大変なことがあっても、

「今、大きく変わっているんだ」とプラスに捉えてほしいです。

最後に、この言葉を送ります。

「人生という土に、

汗という名の水と、

努力という名の肥料をやり、

夢という名の花を咲かせよう」

それぞれの甲子園(夢)に

向かって頑張れ!

「みんなの温かさに感謝」

神田 祐太郎

卒業おめでとうございます。みなさんとは、二年間の関わりでしたが、とても楽しく授業ができました。みんながとても真剣な表情で先生の話聞いてくれるので、ついついしゃべりすぎてしまいました。

休み時間にも集まって金属を磨いてよい作品にしよう頑張る生徒が多く、先生もとてもうれしかったです。

ものづくりはひとつひとついいです。中学校で製作した作品を見たとき、中学校で技術という教科を学んだことを思い出してくれたらうれしいです。

「自分の心を信じて」

伊藤 穂奈美

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした音楽の授業は、いつも笑いにあふれていました。私にとってもすごく楽しい時間でした。最高学年となり、幸田中の顔としてどんな行事も楽しみながら全力で取り組んでいる姿は頼もしく、かっこよかったです。

さて、これからの新しい生活、これまでになかったような出会いや出来事が皆さんを待っています。「自分にできるかな」と頭で考えるより、「なんか気になるな」と心躍った自分の気持ちに前向きに捉え、進んでみてください。みんななら大丈夫!

自分を信じて

野村 英里

「あなたの夢を、そんなこと無理だっていう人いるでしょ。こう言い返してやりなさい。あなたには無理ね、でもわたしはできるの、あなたとわたしはちがうから、って。でも言ったからには夢をかなえなきゃいけないことも覚えておきなさいよ。でかい口たたくんだから。」(小説ムーミンより)

自分のやりたいことや進みたい道を、自分で選ぶことができるのは幸せなことです。どんどん挑戦し、失

敗し、たくさん経験を自分の財産に変えていってください。

ご卒業おめでとうございます。

「三年間ありがとう」

立川 綾佳

団活動や部活動を通して、三年生のみなさんが下級生を引っ張っていく姿をたくさん見ました。出会った一年生の頃がパツと思い出せないくらい、頼りがいのある先輩になっているみなさんを見ると、それぞれの頑張りや成長を感じます。とてもうれしいです。

三年間の中学校生活を元氣いっぱい駆け抜けたみなさんなら、この先も頑張れると信じています。これからのご活躍も期待しています。

ご卒業おめでとうございます。

「自分に期待して」

野中 麻衣

「人間はできないと思ったら、まっすぐに歩くことだってできやしねえんだ」。

浅田次郎『蒼穹の昴』の一節です。これはつまり、「人間はできると思うたら、なんだってできる」ということだと思えます。自分に自信をもってください。自分に期待して、たくさん挑戦してください。もし失敗しても、それは決してむだなことではなく、あなたが乗り越えて成長する

きっかけになるものなのです。

「きつとできる」と信じて、胸を張ってまっすぐに歩いていってください。みなさんのこれからの成長と幸せをお祈りします。

「進む道」

竹田 陸人

ご卒業おめでとうございます。

「人間は考える葦（あし）である。」

数学者・哲学者のパスカルが残した言葉です。

人は植物の葦のようにかよい生き物であるが、思考によってどんなことも可能にさせるという意味です。何事に挑むにも常に思考を止めずに、あなたの道を止めずに突き進んでもらいたいと思います。まだまだ、道は始まったばかりです。可能性は無限に広がっています。

これから先の未来を、これまでの時間、これまでの思い出を胸に過し、輝かしいものにしていくってください。

「今」は未来につながる

伊藤 綾佳

思考に気をつけなさい、

それはいつか言葉になるから

言葉に気をつけなさい、

それはいつか行動になるから。

行動に気をつけなさい、

それはいつか習慣になるから。

習慣に気をつけなさい、

それはいつか性格になるから。

性格に気をつけなさい、

それはいつか運命になるから。

マザーテレサ

「今」のあなたは、未来につながっています。不安になることや、諦めなくなることもあるけれど、そんなときには、「今」すべき、最も大切なことは何かを考えてみてください。

卒業おめでとうございます。

困難こそが財産

真殿 侑那

ご卒業おめでとうございます。

皆さんがこれから進む道の先は、楽しいことばかりではないかもしれせん。しかし、そこで出会うひとつひとつの困難は、必ず自分を成長させてくれる財産です。下を向きそうになったときは、「しめしめ、成長するチャンスがやってきたぞ」と、時に立ち止まり、時に回り道をしながらも前に進んでみてください。その経験は、必ずいつか自分の役に立ちます。

これからも、輝かしい未来に向かって皆さんを、陰ながら応援させていただきます。

未来の原因

鋤柄 伊左雄

卒業おめでとうございます。

一年生の頃、皆さんは、明るく元気でも楽しかったです。三年生

になり、全校をリードして頑張った皆さんは、輝いていました。

そんな、皆さんの未来がさらに輝くように次の言葉を贈ります。

「今」は「過去」の結果であり、

「未来」の原因でもある。

未来は、勝手にやってきません。今の自分が未来を決めるのです。

だから、未来は、いくらでも変えられます。今できることを一生懸命頑張ら、素晴らしい未来を手に入れていってください。

「めっちゃ楽しかった二年一組」

今泉 雅文

申し訳ないが、学年全員にはなく、一年一組だった人たちへ書かせてもらいます。自分が幸中に来て二年目。一年目もすごく楽しくて、何とかそれを再現したいと思って担任した一年一組。少しでもよくしたい、ちよっとでも成長したい、その気持ちだけ持ってきてほしいと伝えたことから一年間が始まった。みんなは見事にそれを体現してくれた。何よりも合唱コンでの頑張り。私はあの合唱が大好きだった。合唱コンの練習をしながらのキツネダンス。すごく思い出に残っている。でも、本当は日常の給食でのちよっとしたやりとり、体育がつぶれたときの反応、言葉の投げかけがすごく楽しくて、毎日学校に行くことが楽し

だった。教室にいることが楽しみで、他の授業でも、よく教室にいた。きつと先生を辞めたとき、懐かしく思い出すのはあの一年一組の教室なんだと思う。そんな素敵な思い出をくれた一年一組のみんなに心から感謝します。

「自分で創る道」

猿島 智佳子

みなさんが、幸田中学校に新しい伝統を創ってくれました。全校ダンス「開幕宣言」と全校合唱「ふるさと」。今、その伝統を二・一年生が一生懸命に引き継ぐとしています。新しいことを生み出し、広げようとする力強い姿を後輩にみせてくれてありがとう。

さあこれからは、みなさん一人一人が、それぞれの道を創り進んでいきます。そして、いずれはその創った道が、自分自身の自信になっていくはず。応援しています。

「素直さ」

市川 茉咲

中学校を卒業して、これからまだまだ長い人生を生きていく上で、勉強ができること、運動ができること、他人より優れていること、そんなことよりも大切なのは、相手を思いやる、些細な気遣いができる、みんなが持っている「素直さ」だと思います。

みんなが中学校時代に同じ時間を

過ごした仲間を大切にしつつ、これから新たに会おう人との関わりも大切にしたいです。いろいろなことにチャレンジして、多くのことを経験してください。

ご卒業おめでとうございます。

「みんなの思い出」

望月 志朗

三年生のみんな、卒業おめでとう。みんなが卒業して、毎日会えないと思うと寂しくなります。授業や行事、何気ない会話、たくさん楽しい思い出がこれからの基準になるのかな。みんなと過ごした思い出を心の支えにして、その楽しかった日々を越えられるように一生懸命生活していこうと思います。もし心が折れそうな時はぜひ会いに来てください。みんなの居場所はここにあります。

「一瞬」

山本 泰暉

楽しいこと、充実したことなど自分にとってよい思い出は一瞬で過ぎていきます。中学三年間はとても充実していて、あつという間だったと思います。それだけ、充実させてくれた環境、仲間、先生など多くの人が周りにいます。これから一人では生きていきませんし、充実した時間を過ごすことも難しいと思います。支えてくれる人を大切にして、一瞬で

過ぎていく時間を楽しんでください。卒業おめでとう。

「あつという間だったね」

渥美 翔也

ご卒業おめでとうございます。みなさんとは一年生るとき縁があって関わることが出来ました。とても幸せな時間でした。いまだに覚えていいます。入学式のころ「先生のこと、電柱ってよんでいい？」だって背が高いもん。」

どのクラスにも英語の授業に入りましたが、どのクラスも本当に楽しかったです。私にとって今とても幸せなことでした。感謝しています。もう卒業か、あつという間だね。素晴らしい姿を見せてくれてありがとう。またね。

「誇れる技を持て」

神田 朗佳

ご卒業おめでとうございます。

「技」というと何か特別な技能のことを指すように思えるかもしれませんが、何でもかまいません。英語が話せるでもいいし、だし巻き卵を美味しく作れるでも素敵だと思います。どんなことでも誇れるまでになるには、それなりの努力が必要です。その努力した時間と身についた「技」が自信となり、助けとなる時が来ます。誇れる「技」を一つ身に付けてく

ださい。身に付いた「技」はあなたを裏切りません。

「きつとできる、大丈夫」

伊藤 汐里

明るく楽しく授業を受けてくれるみんなに毎日勇気付けられていました。当初は英語を苦手に感じていた人も多くいましたが、Kahootで毎日復習するうちに自信を付けて、競い合い、コンマ何秒の白熱した戦いができるようになりましたね。

ほんの少しの時間でも、毎日続けると、思いがけないところで発揮される底力が付きます。目に見える結果だけではなく、確実に成長している自分を大切にしてください。自分の力を信じて頑張ってください。ずっと応援しています。

「幸中生」という誇り

後藤 智也

皆さんは、幸田中で三年間を過ごし、自分が「幸中生」だという誇りみたいなものをもてたでしょうか。

後輩たちに全校ダンスを教えている皆さんの顔つきを見て、私は勝手に「幸中生」の誇りをもっているのかなと感じました。仲間とともに苦勞して頑張ってきた自負があるからなのでしょう。

どこの高校に行っても、どんなクラスになっても、もっと先にどんな

仲間とともにあっても、最後は誇りをもって終われるような時間を過ごしてほしいと思っています。

「お元気で！」

安井 祐三子

いつもの毎日を楽しみ、元気に、朗らかに過ごした皆さん。学校が楽しいのは、苦勞があったとしても皆さん自身が前向きな気持ちを持っていたからだと思います。授業でも、誰かが表情豊かにその人らしさを発揮すると、それだけでその場が楽しくなりました。私はいつも皆さんの優しさを感しました。

お別れは寂しいですが、あたたかい仲間をいつまでも大切に、新しい出会いに向かって幸田中学校を巣立ってほしいです。活躍を期待しています。

「あーがーっ」

青野 ひろみ

ご卒業おめでとうございます。四月にみなさんと出会って、あつという間に一年が経とうとしています。授業ではいつも明るく答えてくれたり、グループワークでは友達と一生懸命考えていたりする姿がとても印象的です。また、休み時間にはみなさんの素直で優しい心にたくさん触れ合うことができました。これからそんな素敵な幸中生の心を持ち続けて、新しい場

所でも頑張ってください。またいつか、大きく成長したみなさんと出会えることを楽しみにしています。

「輝く未来へ」

伴 久美子

ご卒業おめでとうございます。

義務教育九年間が終わり、これから自分で選んだ道を歩むことになりました。これから先、楽しいこと、つらいこと、いろんなことがあると思います。

どんなときも、自分を信じて前へと進んでいってください。頑張ってください。

卒業おめでう

三浦 雅司

数年ぶりに教職の仕事に就き、縁があつて幸田中学校の三年生を担当させてもらいました。幸田中の伝統を守りつつも新たな試みにも挑戦しているみなさんの姿を見て、頼もしく感じました。これからはそれぞれ自分の選んだ道を進むことになりませんが、幸田中での経験を生かし、大いに活躍してください。応援しています。

夢に向かつて

山本 里美

ご卒業おめでとうございます。皆さんの元気な挨拶から一日が始まり、

毎日、よいスタートを切ることができました。勉強や部活動で大きく成長した三年間だったと思います。感謝の気持ちを忘れずにどんなときも笑顔で頑張ってください。夢に向かつて羽ばたく皆さんをずっと応援しています。

すべて自分次第

丹羽 美智子

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。不安や緊張、期待や目標を胸に、これから新しい生活が始まります。新たな環境の中で新たな仲間に出会い、これからのあなたを作っていきます。どんなあなたになるかは、あなたがどのように行動するかで決まります。すべて自己責任。好きなこと、やりたいことを見つけて、とことん極めてください。「いま」をしっかりいきことで「未来」が輝きます。

「我達人」

鈴木 淳子

「我達人」は、「我、人と違うなり」と読みます。人と人との出逢いの尊さを表した禅の言葉です。

みなさんに出逢えたことは運が良いとしか言いようがありません。みなさんがこれから、どんな人と出逢いどんな人生を歩むのだろうかと思像するとわくわくします。

人と違うことを大切に。

人に会える場を大切に。人と違う自分を大切に。ご卒業おめでとうございます。

旅立つ皆さんへ

岩瀬 貴子

ご卒業おめでとうございます。

中学校ではいろいろな経験をし、困難を乗り越え大きく成長できた三年間だったと思います。

共に過ごした仲間との絆を大切に、新しい生活をより楽しんでいて下さい。笑顔で再会出来る日を楽しみにしています。

「義務教育を終えて」

石川 曜子

ご卒業おめでとうございます。みなさんが元気に卒業できることをうれしく思います。義務教育が終わり、今後は、自分で選んだ道を歩むことになりそうです。皆さんの選択肢に、時には悩むことでしょう。しかし、三年間の経験と努力が、支えてくれるはずです。今後の活躍を楽しみにしています。

卒業生のみなさんへ

田村 恵

ご卒業おめでとうございます。中学生生活を終えてたくさんの思い出を胸に抱き、それぞれの新たな道を進む今、すばらしい始まりだと思いま

す。希望や不安、いろいろな思いとともに一歩を踏み出すことでしょう。人生は選択の連続です。これから進む道を選んだ自分に自信をもって、新しい生活を楽しんでください。

出会った人やものを大切に

伊藤 秀雄

卒業おめでとうございます。

三年生の皆さんの素晴らしい合唱に何度も接することができ、とてもうれしかったです。中学校で出会った人やものは、一生を左右します。

私の場合、昔は幸田中学校に合唱部があり合唱の素晴らしい出会い、その後六十年ほどにわたり合唱との付き合いが続いています。おかげで、さまざまな人との出会いもあり、とても幸せな人生になりました。

中学生時代に出会ったものを大切にしてください。きっと、幸せな人生につながります。

「二人じゃないよ」

志賀 美智代

これから先、みなさんはいろいろと辛いことや苦しいことに会えると思います。そんなときは、家族や友だち、先生たちのことを思い出してください。みなさんのことを大好きな誰かが、必ず力になってくれます。人は一人ではありません。誰かの力を借りて、誰かの力になって、いつも前を向いて歩

きましよう。みなさんの進む道は、明るい未来に続いています。

卒業おめでとうございます

渡辺 有美

本の紹介をしたときのみなさんの真剣な表情、しっかりと聞く姿勢の素晴らしいさをよく覚えています。

つらく苦しいときは、あのとき紹介したまどみちおさんの『ぼくがここに』を思い出してください。そして周りに感謝し、思いやる心を忘れないでください。

一人一人がかけがえのない存在であるみなさんに素敵な出会いが訪れますよう、これからも応援しています。

「自分らしく成長を」

杉浦 孝介

ご卒業おめでとうございます。

皆さんが卒業されることが自分にとってうれしいことだと感じます。

私たちは成長することに喜びを感じるようにできています。ただ、何のためどんな成長をするかという方向が定まっていなかったり、他人に成長を強要されると苦しくなります。

自分がどこに向かっていけると幸せなのかを知ることができるのは自分だけです。だから自分を幸せにできるのは自分しかいません。自分の幸せを他人任せにせずに、より自分らしく生きてほしいなと願っております。

「新しい出会いを大切に」

関谷 テレシタラジネル

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私とは短い期間ではございますが、皆さんと出会えた事幸せに思います。

この春から皆さん、別々の道を歩んで行かれますが新しい出会いを大切に、目標に向かって頑張ってくださいね。

Enjoy life and learn!

Congratulations on your graduation! This past year has been full of fun activities and great conversations with you. As you start this new chapter, follow your dreams and try to visit other countries—there's so much waiting for you to discover. I'm really excited to see where your journey takes you next!

TanAlice

素敵な私

中村 真里

人生は楽しいこととできることで自分自身が作るもの。迷ったら、楽しい方を選んで、素敵な人生を完成させる歩みを続けてください。人生の設計図も組み立てるのも、すべてが自分です。私はいつも皆さんの味方ですから、心から応援しています。ご卒業おめでとうございます。

美しいものとは

伊與田 孝彦

ご卒業おめでとうございます。

皆さんにこの言葉を贈ります。

「見た目だけでその人を怖がったり、仲間外れにするのはいけないんだよ。大事なものは、心の美しさなんだからね。」(ジャムおじさん)

どんなときも心と心のつながりを大切にできる人になってください。応援しています。



「素晴らしい未来」

池長 みちか



1 年生：レクリエーション

先輩へ贈る言葉

憧れの先輩

二年

いつかは追い越せるように

二年

四月、僕たちは学校生活についても部活動についても、何も分かっていないまま、入学してきました。しかし、初めて三年生の先輩方が僕たちに披露してくださった全校ダンス、全校合唱を見て、カッコいいと思ったこと、部活動見学するとき、三年生の先輩が優しく話し掛けて下さったことは、今でも忘れられません。これらがあつたから、僕は、「この学校でよかった」と心から思い、その後、不安を全く感じなくなりました。

それから僕は野球部に入り、三年生の先輩とプレーをしました。自分からも話せるようになり、夏に向けてチーム一丸になりました。これから、「先輩」という立場になるので、先輩が最初に優しく話し掛けてくれたような、そんな先輩を目指していきたいです。

全てにおいて憧れだった先輩。自分が二年後、そうなれるように、先輩の姿を追いつきたいです。

後輩へ贈る言葉

忘れられない経験

三年

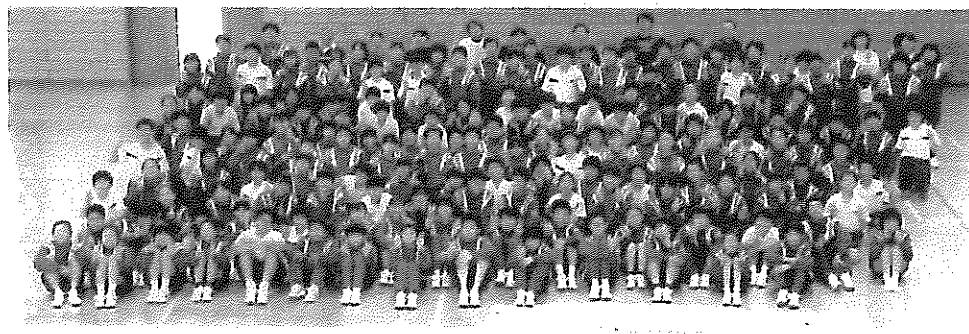
私にとって部活動は、技術だけでなく、心身ともに成長できる、充実したかけがえのない時間でした。

私は、バスケットボール部に所属し、副主将を務めました。練習の中では、みんなが楽しめる部活動になるように、先輩、後輩に関わりなく積極的にコミュニケーションをとり、シュートが入ったときには、笑顔で分かち合えるようにしました。しかし、時にはつらい練習もあり、部活動に行きたくないという時期もありました。それでも、最後まで目標に向かって頑張り続けることができたのは切磋琢磨できる仲間がいたからこそだと思います。

最後の大会、仲間と流した涙は一生忘れられないものになり、たくさんの成長や経験をえました。これは私にとって宝物です。

後輩のみなさん、「仲間」という存在は、つらいとき、やめたくなったり、自分の支えとなります。だから、部活動や学校生活など、中学校だから

こそできることを、仲間と一緒に楽しみ、目標に向かって挑戦していただきたいと思います。



1年生：学年の日

